

# 東海経済レポート

## （2017 年 1 月）

～これまでの横這いから、緩やかな回復に転じつつある状況～

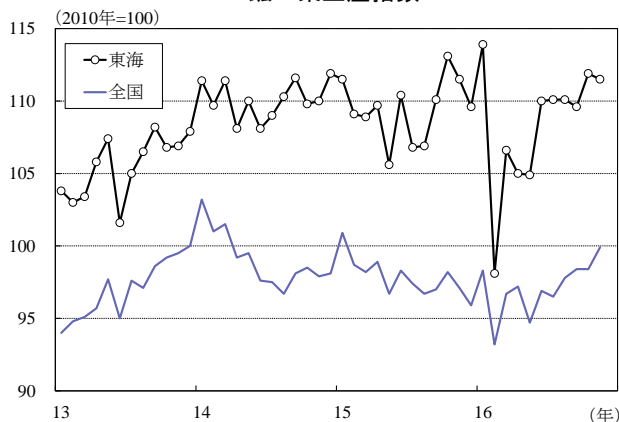
### 【足元の経済情勢と当面の見通し】

- ◇ 東海経済の景況感は、これまでの横這いから、緩やかな回復に転じつつある状況。企業部門は、生産が相応の水準で推移しているうえ、設備投資も高水準を維持。前年割れが続く輸出はマイナス幅が縮小。家計部門は、引き締まった雇用環境の下、個人消費は自動車販売や小売売上高などがプラス基調で推移。
- ▶ 生産は、11 月の鉱工業生産指数が前月比▲0.4%と 2 ヶ月ぶりに低下。業種別では、電子部品・デバイスが同+5.4%とプラスを維持したものの、主力の輸送機械が同▲1.8%と 2 ヶ月連続で低下したほか、生産用機械も同▲5.2%と減少に転じ、生産全体では微減となった。ただ、引き続き相応の水準は維持。
  - ▶ 設備投資は、大企業の 7-9 月期の投資額が前年比+1.1%と 8 四半期連続の増加。前年同期が高水準であった影響からプラス幅は縮小したが、投資額は高水準を維持。先行指標とされる金属工作機械の 11 月の国内受注額は同▲7.1%と 14 ヶ月連続で減少しており、設備投資の先行きには引き続き要留意。
  - ▶ 輸出額（円ベース）は、11 月に前年比▲5.0%と 12 ヶ月連続で減少。ただ、マイナス幅は 2016 年初以降で最小。相手国別では、中国向けが同+8.4%と 9 ヶ月ぶりに増加したほか、米国向けや EU 向け、アジア向けもマイナス幅は縮小。品目別では、自動車部品が同+14.1%と 4 ヶ月連続で増加。
  - ▶ 雇用は、需給の引き締まった状況が継続。11 月の有効求人倍率は、三重県が 1.44 倍と 2 ヶ月連続で低下したものの、愛知県は 1.67 倍、岐阜県は 1.72 倍と共に横ばいで高水準を維持。3 県ともリーマン・ショック後の最高水準域で推移中。
  - ▶ 個人消費は、11 月の小売主要 3 業態の販売が前年比+2.7%と、2 ヶ月連続で増加。百貨店は前年比減少が続くものの、堅調なコンビニに加え、スーパーも 2 ヶ月連続で増加となった。また、11 月の新車販売台数は同+10.2%と、5 ヶ月連続で増加。2 桁増は消費増税前の駆け込み需要があった 2014 年 3 月以来。
  - ▶ 住宅着工は、11 月に年率換算で 9.3 万戸と、3 年ぶりの高水準まで増加。持家、貸家、分譲が揃って 2 桁増となった。

## 【生産①】

11月の鉱工業生産指数は前月比▲0.4%と2ヵ月ぶりに低下。指数の水準は高めを維持。

鉱工業生産指数

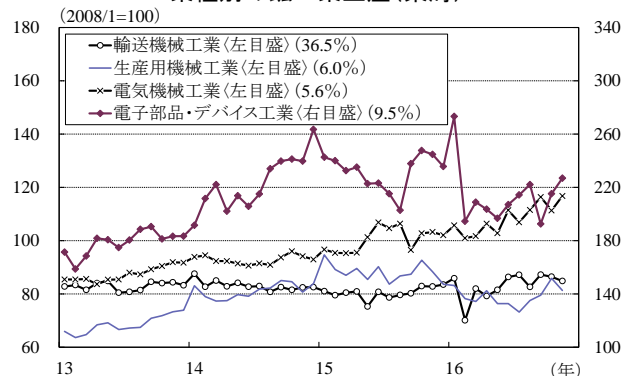


(注)『東海』は愛知、岐阜、三重の3県。  
(資料)中部経済産業局統計等より三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

## 【生産②】

業種別では、主力の輸送機械が前月比▲1.8%と2ヵ月連続で低下し、全体を下押し。

業種別の鉱工業生産(東海)

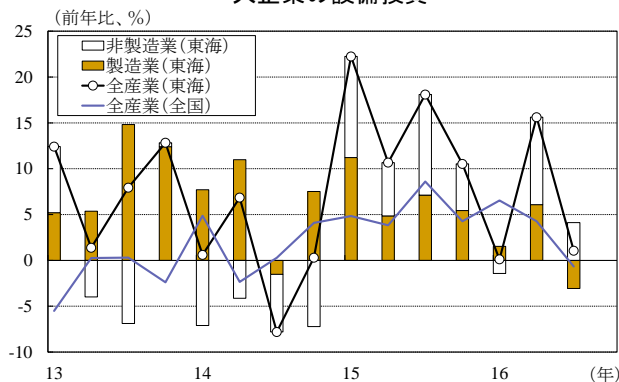


(注)1.『東海』は愛知、岐阜、三重の3県。  
2.( )内の数値は、業種毎の付加価値額の比率(平成22年基準)。中部経済産業局算出  
(資料)中部経済産業局統計等より三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

## 【設備投資】

7-9月期の大企業の設備投資は、前年比+1.1%とプラス幅が縮小。ただ、投資額は相応水準を維持。

大企業の設備投資

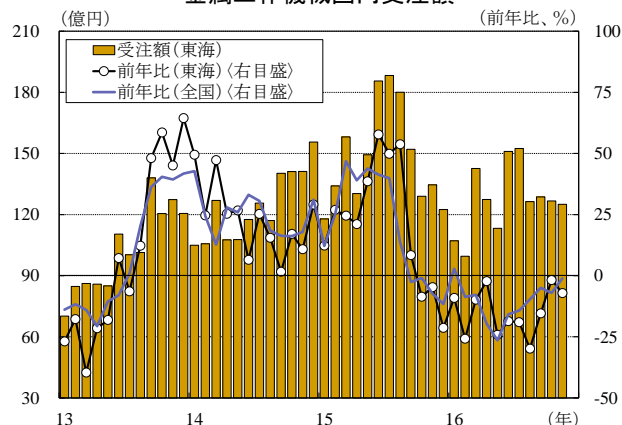


(注)1.『東海』は愛知、岐阜、静岡、三重の4県。  
2.資本金10億円以上の企業を対象。  
3.設備投資額はソフトウェアへの投資を除いた金額。  
(資料)東海財務局統計等より三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

## 【金属工作機械受注(国内)】

金属工作機械の国内受注額は11月に前年比▲7.1%と、14ヵ月連続でマイナス。

金属工作機械国内受注額

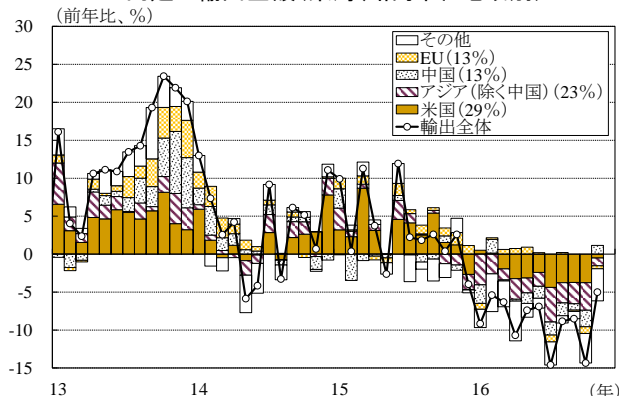


(注)東海は中部経済産業局管内の主要8社。  
(資料)中部経済産業局統計等より三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

## 【輸出】

11月の輸出額(円ベース)は、前年比▲5.0%と12ヵ月連続で減少。マイナス幅は縮小。

円建て輸出金額(東海、相手国・地域別)

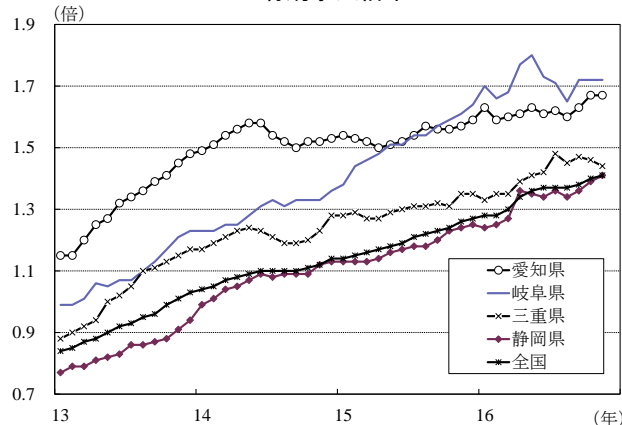


(注)1.『東海』は名古屋税関管内(愛知、岐阜、三重、静岡、長野)。  
2.( )内の数値は2015年輸出総額に占めるシェア。  
(資料)名古屋税関統計等より三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

## 【雇用】

11月の有効求人倍率は愛知県が1.67倍、岐阜県が1.72倍と高水準で推移。三重県は1.44倍と低下。

有効求人倍率

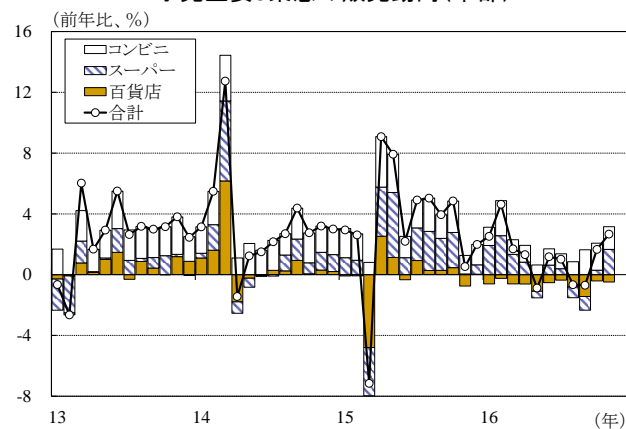


(注)『有効求人倍率』は、「有効求人数」を「有効求職者数」で除したもの。  
(資料)厚生労働省統計等より三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

## 【個人消費】

11月の小売主要3業態の販売は前年比+2.7%と2ヵ月連続で増加。

小売主要3業態の販売動向(中部)

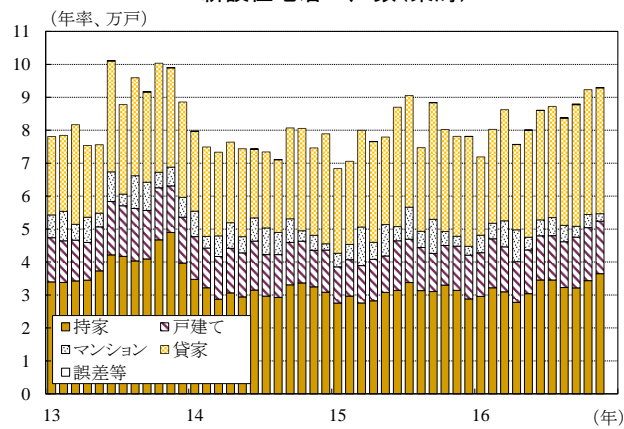


(注)『中部』は愛知、岐阜、三重、富山、石川の5県。  
(資料)中部経済産業局統計等より三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

## 【住宅投資】

11月の住宅着工戸数は年率換算で9.3万戸と、3年ぶりの高水準まで増加。

新設住宅着工戸数(東海)

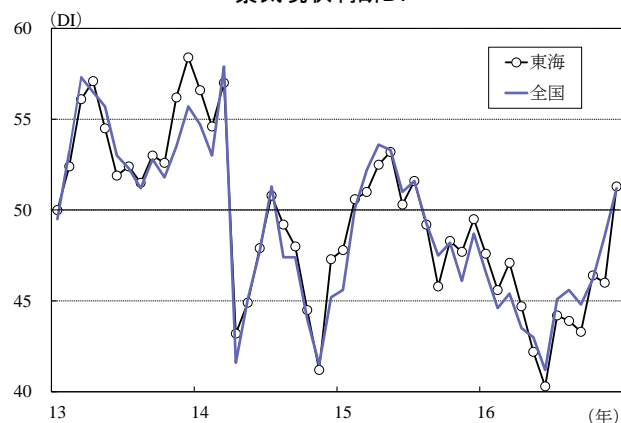


(注)『東海』は愛知、岐阜、三重の3県。  
(資料)国土交通省統計より三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

## 【景気ウォッチャー調査】

12月の景気現状判断DIは51.3と17ヵ月ぶりに50を上回った。

景気現状判断DI

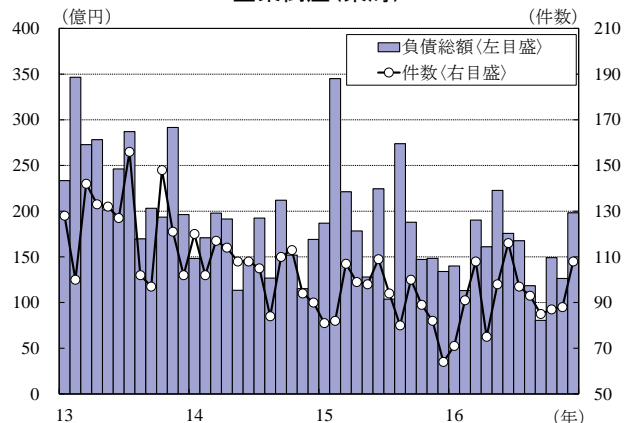


(注)『東海』は愛知、岐阜、三重、静岡の4県。  
(資料)内閣府資料より三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

## 【倒産件数】

12月の企業倒産件数は108件、前年比+68.8%の増加。負債総額も同+47.9%の増加。

企業倒産(東海)



(注)『東海』は愛知、岐阜、三重、静岡、長野の5県。  
(資料)東京商工リサーチ資料より三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

## 【原油価格】

OPEC加盟国及び非加盟主要産油国が協調減産で合意。WTI先物は1バレル50ドル超で推移。

原油価格

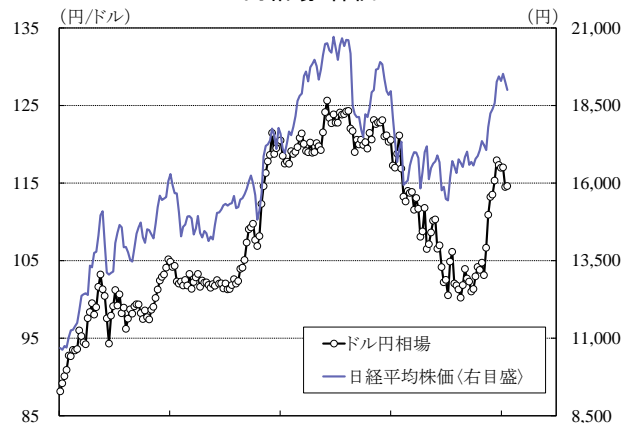


(注)『原油価格』はWTI先物。  
(資料)Bloombergより三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

## 【円相場・株価】

米国新政権への期待一巡や、欧州経済の不透明感の高まり等を背景に、円安と株高の動きは一服。

円相場・株価



(資料)Bloombergより三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

照会先：三菱東京 UFJ 銀行 経済調査室（名古屋）

中村 健彦 takehiko\_nakamura@mufg.jp

当資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、金融商品の販売や投資など何らかの行動を勧誘するものではありません。ご利用に関しては、すべてお客様御自身でご判断下さいますよう、宜しくお願い申し上げます。当資料は信頼できるとされる情報に基づいて作成されていますが、当室はその正確性を保証するものではありません。内容は予告なしに変更することがありますので、予めご了承下さい。また、当資料は著作物であり、著作権法により保護されております。全文または一部を転載する場合は出所を明記してください。また、当資料全文は、弊行ホームページでもご覧いただけます。